

FUTURE DESIGN 2022

第5回

持続可能な社会のしくみをフューチャー・デザインする

基調講演 Kate Raworth

"From Growth to Thriving: humanity's 21st century journey"

ケイト・ラーワースさんは、経済学を21世紀にふさわしいものにするに力を注ぐ反逆の経済学者です。彼女の著書『ドーナツ経済学が世界を救う：人類と地球のためのパラダイムシフト』は20カ国語に翻訳された国際的ベストセラーで、2017年のフィナンシャル・タイムズ&マッキンゼーの年間最優秀ビジネス書賞など数多くの賞を受賞しています。Doughnut Economics Action Labの共同設立者であり、都市、ビジネス、コミュニティ、政府、教育者と協力し、Doughnut Economicsを急進的なアイデアから変革的なアクションに変えています。オックスフォード大学の環境変革研究所で教鞭をとり、アムステルダム応用科学大学の実践教授を務めています。

パネルディスカッション

2021年11月、6人の有識者が2チームに分かれ、仮想将来人になりきって2050年の日本の姿を描く討論をしました。この6人にご意見頂き、この討論結果を振り返ります。そして、フューチャー・デザインの可能性について議論します。

チーム A

首都直下型地震が発生して十数年経った2050年の日本が、明るい未来に向かってどう進みつつあるのかを、マクロ経済学的な視点と国民一人一人のミクロな視点両方から描きました。



小林 慶一郎
慶應義塾大学経済学部教授
東京財団政策研究所研究主幹



永野 あきほ
ミシガン大学公共政策大学院
(行政官長期在外研究員)



神津多可思
日本証券アナリスト協会
専務理事

チーム B

2050年の日本人が、経済的な地位の低下を直視しつつ、成熟した民主主義国として外国人を受け入れ、彼らと協同してイノベーションを起こしたり地域を維持している姿を描きました。



廣光 俊昭
経済学研究者
(在米国日本国大使館公使)



松本 紹主
現代仏教信 世界経済フォーラム
(ダボス会議) Young Global Leader



佐藤 光光
一橋大学政策大学院経済学研究所教授 東京財団政策研究所



Zoom開催

1月29日 10:30~
1月30日 9:30~

「ウィズコロナ/ポストコロナの
フューチャー・デザイン」

フューチャー・デザインは、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐために、新たな仕組みをデザインし、現在の社会の仕組みである市場や民主制を何らかの形で制御しようとする新たな分野です。たとえば、将来世代の視点に立ち、将来世代の利益を代表する役割を与えられた人々(仮想将来世代)は、通常の現代世代の人々とは異なる思考をして、将来世代の利益を擁護することが実験や実践で分かってきました。本ワークショップでは、フューチャー・デザインをめぐる様々な実践や研究について議論いたします。研究者だけでなく、自治体などの実務家も含め、意見交換を行います。奮ってご参加ください。

|主催| 東京財団政策研究所
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

|共催| 高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

|後援| 日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

|共催| 総合地球環境学研究所 一般社団法人フューチャー・デザイン
一般社団法人しあわせ推進会議

|後援| 公益社団法人経済同友会 土佐経済同友会

参加申込は
こちらから

<https://www.ri-futuredesign.com/>
Tel. 088-821-7145

